



高知県

正念場！

高知県産業振興計画

第66号 2012年1月

農業技術センターニュース

目			次		
	果色の濃い促成栽培用ピーマン品種育成の 取り組み	… 1		とげなしナス「高育交 8 号」および 「試交 SL10 号」の品質特性	… 4
	水耕栽培におけるニラの鉄欠乏症の再現	… 2		3色ピーマンの試験が始まりました！	… 5
	オオバの生産安定に向けた 農薬登録拡大の取り組み	… 3		今年度の海外からの研修生です！	… 6

果色の濃い促成栽培用ピーマン品種育成の取り組み



写真1 ‘トサミドリ’の果実



写真2 薬培養で得られた果色の濃い系統

2005年、農業技術センターでは促成栽培用に多収で果形が良く、トバモウウイルス抵抗性の‘トサミドリ’を育成しました(写真1)。しかし、この品種は、県内で栽培されている他品種に比べ、過繁茂時に果色が淡くなる傾向がみられました。また、野菜に関するマーケティング調査の結果、果色の濃い野菜が好まれることも明らかになりました。

このため、‘トサミドリ’並の果形で収量

が多く、かつ促成栽培に適する果色の濃いピーマン品種の育成に取り組んでいます。

2006年から市販の濃果色ピーマン品種を材料にして薬培養を行い、約100系統の再分化植物を得ました。これらの果色を調査した結果、‘トサミドリ’より果色の濃い系統が多数得られました(写真2)。

今後、濃果色で果形が優れ、多収の親系統を選抜し、F₁系統を作出する予定です。

(園芸育種担当 細美祐子 088-863-4916)